

## 抗議文

駐日アメリカ合衆国大使館  
臨時代理大使  
ジョセフ・M・ヤング 閣下

この度、貴国が昨年11月に、ネバダ州の核実験場において、臨界前核実験を実施していたとの報道に接しました。

国連で核兵器禁止条約の発効が決まり、国際社会が「核兵器のない世界」の実現に向けて大きな一歩を踏み出そうとしている中、核兵器保有の姿勢を保持し続け、2017年12月、2019年2月に続く、現政権での3回目の臨界前核実験を実施していたことに、旭川市は厳重に抗議します。

核兵器の廃絶を願う「平和都市宣言」を行い、平和首長会議及び日本非核宣言自治体協議会の一員である旭川市は、貴国が世界の大国として、核兵器の開発と保有につながるあらゆる核実験を即時中止し、核軍縮の取り組み、核兵器廃絶に向けた主導的役割を果たすよう強く求めますので、本国へ伝達されるようお願いいたします。

令和3年1月19日

旭川市長 西川 将人